

2020年3月5日
住友電装株式会社

経済産業省が“優良な健康経営を実践している法人”を顕彰する 「健康経営優良法人 2021」に認定

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：川井 文義、以下 住友電装）は、この度、経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人 2021（大規模法人）」に認定されましたのでお知らせいたします。



「健康経営」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取り組みを指します。健康経営優良法人認定制度は、従業員の健康保持・増進において特に優良な取り組みを実践している企業や法人を経済産業省と日本健康会議共同で顕彰する制度です。

住友電装の具体的な取り組み

住友電装は社員一人ひとりの健康は活気ある企業の源そのものと考え、「世界で一番働き甲斐のある、活力ある会社」をめざすために、2020年4月に「住友電装グループ健康宣言」を策定し、以下の健康増進活動を行っています。

【 重点的に取り組んでいる活動 】

1. 法令遵守の徹底
 - ①各種健診 受診管理
 - ②特殊健康診断の運用管理
2. 健康労働寿命・貢献寿命の延伸・労働力の確保
 - ①事後措置の徹底
 - ②特定保健指導導入のための準備
3. 健康づくり（啓発活動）
 - ①受動喫煙防止啓発強化
 - ②健康啓発セミナー

【 取り組み事例 】

1. 健康づくり対策

- ・従業員の健康意識向上を図ることを目的に、女子ラグビーPEARLS 選手たちが考案する栄養バランスを考えた食事を食堂にて提供。「低糖質」「低脂質」「食物繊維」「価格」「ボリューム」をキーワードにして展開。



2. 受動喫煙・禁煙対策

- ・就業労時間内の禁煙を実施。
- ・毎月 22 日を「受動喫煙防止の日」と定め、受動喫煙防止の啓発活動を推進。
- ・国内関係会社を巻き込んだ「禁煙ダービー」を実施。応援団を結成し、みんなで禁煙したい人をサポートする活動を実施。

住友電装は、今後も積極的な健康づくりを支援し、社員が心身ともに健康な状態で働くことができるよう健康の保持増進に努めます。

以上

—ご参考—

◆健康経営優良法人認定制度について[経済産業省]

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

◆住友電装について

住友電装は1917年に創業し、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝える「ワイヤーハーネス」を製造する世界トップクラスの企業です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応じて、自動車用ワイヤーハーネスのほか、エレクトロニクス製品、ハイブリッド車・電気自動車用製品などの幅広い製品群を展開しています。これまでに培ってきた「つなげる、つながる」技術を活かしてもっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしい次世代のモビリティ社会に貢献していきます。